

千代田グループ CSR報告(2016年ダイジェスト)

千代田化工建設株式会社
IR・広報・CSRセクション



1. 会社概要 (2016年3月期)

社名 千代田化工建設株式会社 / CHIYODA CORPORATION

設立 1948(昭和23年)年1月20日

資本金 433億96百万円

売上高 6,115億(連結)

従業員数 5,866名(連結)

社長 澁谷 省吾(しぶや しょうご)

業務内容 総合エンジニアリング業

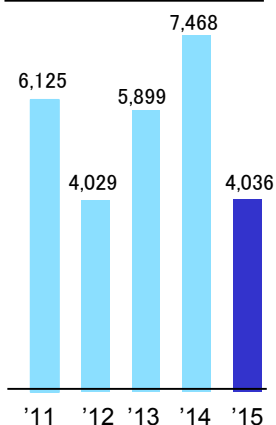
拠点 グローバル本社(横浜)
子安オフィス・リサーチパーク(横浜)

プロジェクト実績 世界60ヶ国以上

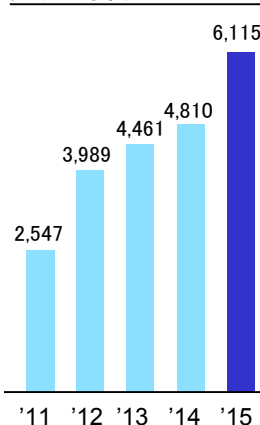


連結業績(億円)

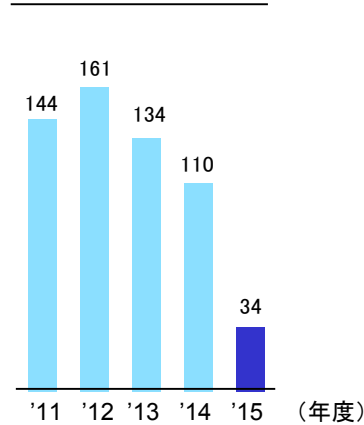
受注工事高



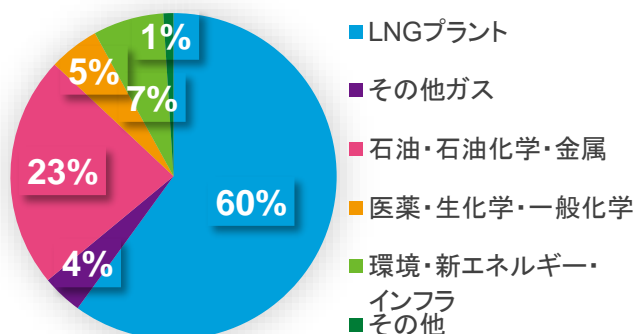
完成工事高



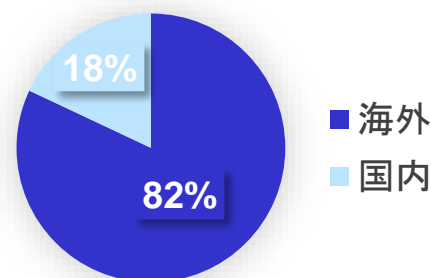
当期純利益



分野別売上高構成比(2015年度)



地域別売上高構成比(2015年度)



2. 編集方針

・CSR活動報告の方針

千代田グループのCSR活動は、Webサイトで報告しています。

Webサイトでは、CSR全般に関連する詳細情報を網羅的に紹介していますが、本報告書は2015年度活動ハイライトをダイジェスト版で報告しています。内容はグループCSR連絡会及び国内外グループ会社のCSR責任者と協力して、千代田グループの経営理念、CSRビジョンの観点から絞り込みを行い編集されたものです。ガバナンスを含む詳細につきましては、以下のWebサイト等も併せて参照願います。

報告対象期間：2015年度(特に注記のない限り2015年4月1日～2016年3月31日が対象)

・Webサイト「CSRへの取り組み」

<https://www.chiyoda-corp.com/csr/index.html>

・Webサイト「コーポレートガバナンスポリシー」

http://chiyoda-corp.com/company/files/160623_CGPr.pdf



・参考「ANNUAL REPORT」

海外の株主や投資家向けに英文で作られた「年次報告書」です。CSR活動についても主なトピックスを紹介しています。



・参考「千代田グループCSRハンドブック」

千代田グループ「経営理念」「CSRビジョン」「行動規範」「行動の手引き」などの基本方針を編集したものです。従業員全員に配布しています。

千代田グループのCSR活動

Webサイトに網羅的に報告

CSR報告
(ダイジェスト)
当期の活動
ハイライトを報告

千代田化工建設株式会社 グローバル本社
〒220-8765
横浜市西区みなとみらい四丁目6番2号
みなとみらいグランドセントラルタワー

本報告に関するお問い合わせ先
IR・広報・CSRセクション
電話：045-225-7734
FAX：045-225-4962
E-mail: csr@chiyodacorp.com

3. トップメッセージ

千代田グループの経営理念の実現に向けて



【経営理念】

総合エンジニアリング企業として、英知を結集し研鑽された技術を駆使してエネルギーと環境の調和を目指して事業の充実を図り、持続可能な社会の発展に貢献する。

千代田グループの社会的責任(CSR)

当社は1948年の創業以来、エネルギーと環境の調和を目指して、各時代、各地域の要請に沿って最適なインフラを提供し、社会の発展に貢献することに努めてきました。現在、当社を取り巻く事業環境は、シェール革命による供給能力の増大と新興国の需要低迷に起因する原油価格下落の影響を受け、大きく変化し不確実性が高まっています。

こうした環境下にありますが、当社はグループ経営理念に基づき、時代やStakeholderの要請を的確に把握し、課題解決に努めてまいります。

これからもエンジニアリング事業の遂行を通じ、地球環境と経済社会活動の調和をはかり、人権、貧困、環境、資源確保などのグローバルな課題解決に貢献し、よりよい社会の実現に努めていくことが「千代田グループのCSR活動」であると考えています。

信頼される企業を目指して

益々グローバルに企業活動が展開する中で、千代田グループは従業員のみならず、顧客、ビジネス・パートナー、地域コミュニティー等のステークホルダーとの関わりにおいて、性別、国籍、年齢、宗教等によらず活躍できる環境の整備、支援、意識改革など、ダイバーシティの推進として、「Smile & Respect」のキャッチフレーズを掲げ積極的に取り組んでいます。また、本年4月に、「女性の活躍を推進するための行動計画」を定めた他、社員有志による千代田グループのあるべき姿を検討するなど、様々な取り組みも進めています。

更に、千代田グループの持続的な成長と中長期的な企業価値の向上に資することを目的に2015年10月にコーポレートガバナンス・ポリシーを制定するとともに、会社経営の健全性と透明性の向上及び迅速な意思決定をはかるべく、本年6月には「監査等委員会設置会社」へ移行し独立社外取締役3名を任命するなど、コーポレート・ガバナンス体制の更なる強化を図っています。

3. トップメッセージ

一方、「社会は企業存続の基礎」であることから、企業市民としての社会貢献活動も継続しています。特に東日本大震災の被災地支援としての従業員ボランティア派遣に加え、5年目を迎えた本年度は復興活動を継続している地元の4団体への支援や、熊本地震への被災地復興支援として従業員による義援金の寄付を行いました。

千代田グループは、幅広くあらゆるステークホルダーとのコミュニケーションに努めていると共に、CSRの重要な基礎となる国内外の法規・国際的な取り決め、並びに情報セキュリティルールの遵守、及び人権の尊重、ハラスメント防止、腐敗防止、などに関するコンプライアンスを徹底しております。加えて、2012年に参加した「国連グローバル・コンパクト」への取り組みを継続し、この精神を具現化している「持続可能な開発のための2030アジェンダ」(SDGs: Sustainable Development Goals)*を可能な範囲で業務へ反映すべく努めています。そして、常に千代田グループの立ち位置を確認し、社会から信頼される企業を目指して積極的な活動を継続していきます。

*: 2015年に国連本部で開催された「国連持続可能な開発サミット」で150を超える加盟国首脳参加のもと採択された目標。2015年から2030年までに貧困、飢餓、エネルギー、気候変動、平和社会実現など持続可能な開発に向けて達成すべき17の目標と169のターゲットが示されている。）

企業価値の向上を目指して-ONE TEAMの精神

千代田グループは、様々な社会課題に技術でソリューションを提供するという社会的な要請と期待に応えるべく、技術の研鑽を継続し、様々なステークホルダーと目標を共有する「ONE TEAM」の精神の下、経営理念の実現にグループ一丸となって事業活動に取り組んでいきます。この取り組みを通じて社会的責任を果たし、企業価値向上と持続可能な社会の発展に貢献できると確信しています。



代表取締役社長

澁谷省吾

4. 特集： INPEX Operations イクシスLNGプロジェクトの遂行

プロジェクトの概要

JGC・KBR・当社のジョイントベンチャーであるJKCオーストラリア（豪州法人）は、2012年初めに、豪州ダーウィンを建設地としたLNG液化プラントの設計・調達・建設・試運転等を含むEPC契約をINPEX Operationsと締結しました。INPEX Operationsは2017年第3四半期（2017年7月から9月）にLNGの製造開始を計画しています。製造規模は年産890万トンで日本の年間消費量の10%以上に相当します。そのうち約570万トンのLNGが日本の顧客に向けて毎年輸出される予定です。本プロジェクトは世界最大級のLNG液化プラントであり、原料となる天然ガスは北西豪州沖のブラウズ海盆のイクシスガス田から890キロのパイプラインでダーウィンまで運ばれていきます。



品質向上への取り組み

イクシスLNGプロジェクトは、2015年11月9日から14日間開催されたワールド・クオリティー・デイに参加しました。ワールド・クオリティー・デイ（WQD）は、品質向上への取り組みを発表し、品質向上に関わったすべての人々を称える場です。この場で発表したINPEX、JKC、サブコントラクターが一丸となったプロジェクトへの取り組みは、WQDキャンペーンを盛り上げ、成功へ導きました。期間中、同僚をチョコレートを使って品質の世界へ引き込もう！というテーマに沿ったチョコレート テイスティング モーニングティーというイベントや、サブコントラクターの日々の活動の展示、品質向上への理解と認識を深めるワークショップなどが行われました。今後も品質向上を目指して、様々な取り組みを行っていきます。



事業を通じた社会への貢献



”Clean Australia Day”への参加

イクシスLNGプロジェクトでは環境保全活動を実施しているコミュニティを支援する為、毎年オーストラリアで国をあげて開催されるイベント”Clean Australia Day”への参加を多くの従業員や様々なサブコントラクターに参加を呼びかけました。

Manigurr-ma VillageやBlaidin Pointといった、地元のコミュニティの隅々を清掃する活動に多くのスタッフが参加し、このイベントの成果として、440キロもの大量のごみが収集されました。

クリスマス慈善募金活動

Food Bank Northern Territoryによるとダーウィンの貧困地域の25パーセントの世帯が食糧不足の状態にあります。

Foodbank NTは特定宗教と無関係な、献身的な人々による大規模なサポートに基づき運営されているNPOです。

イクシスLNGプロジェクトでは、2015年11月17日から12月17日までの1ヶ月にわたり、クリスマス慈善募金活動を行いました。現地の人々をサポートする為、食べ物や飲み物、クリスマス飾りやおもちゃなどの多種にわたる”Toys and Ticker”を募りました。

チャリティーイベントでは25台分の総重量約12トンにもなる寄付が集まりました。プロジェクト皆さんの気持ちは、地元のみなさんに大変喜ばれました。



4. 特集： INPEX Operations イクスLNGプロジェクトの遂行

環境への取り組み

イクスLNGプロジェクトは居住者をとりまく自然環境に対する高い持続可能性を追求しています。エンクローズド グランド フレア パッケージを導入する事により、排ガスの燃焼を適切な状態に保つことに成功し、高い無煙性を実現します。このパッケージはバーナーの周りにエンクロージャを配置しており、LNGの生産中にフレアリングが起こったとしても、放射熱レベルを軽減して沈静化し、炎の可視化を防ぎます。

人権の尊重

イクスLNGプロジェクトでは現在、様々な役割の元、1,000人を超える女性が働いています。同チームとINPEXは協力して、このプロジェクトに従事する女性たちを祝う日を企画しました。モーニング及びランチタイムにセッションが行われ、建設業の経験を有する女性たちによって、その歴史を分かち合える場になりました。イベントにより、500ドルをパーマストーン ガールズ アカデミーに寄付しました。サブコントラクターも同様のイベントを開催し寄付を行い、現場が1つになって女性従業員への敬愛を伝え祝いました。

安全への取り組み

イクスLNGプロジェクトの第一目標は世界でナンバーワンの無事故無災害プロジェクトを遂行することです。

1. サブコンの全ての要員と前向きな相互会話に心がけ
2. 全従業員への権限委任を進め、現場での目に見えるリーダーシップを発揮し
3. 新しいアイデアを出し、工事を楽しもう

をスローガンに掲げ、様々な取り組みを行い、プロジェクト一丸となって無事故無災害を目標に遂行しています。

・無事故無災害活動への取り組み：グリーン・ホーネット

イクスLNGプロジェクトでは、危険区域への立ち入り制限のためにバリケードを設置し、現場全体の歩道不足を解決するために、保守作業の観点から2015年8月にグリーン・ホーネット アクションチームが作られました。グリーン・ホーネット アクションチームは無事故無災害活動への取り組みとしてプロジェクトの安全性を高めるよう、プロジェクトのより良いバリケード設置・建設・保守作業の遂行をサポートしています。



現場を視察するグリーンホーネットチーム

・メンタルヘルスへの意識

安全はイクス LNGプロジェクトにおいて最も優先される項目です。ジョイントベンチャー会社のJKCでは、“フィジカル及びメンタル両面に健全であるべき”に着目し、全体の安全意識を高めることに焦点を置いています。中でもメンタルヘルスの問題は国際的な事業を展開するコミュニティにとって重要度が増しつつあり、建設業も同様の影響を受けています。イクス LNGプロジェクトではメンタルヘルスに対するサービスを提供しており、目に見えない傷について話をする機会を設けメンタルヘルスへの意識をより高めるキャンペーンを行っています。

作業着のオージーヘルプシャツを購入すると代金の一部がキャンペーンの一環として寄付されます。



オージーヘルプシャツを着用したスタッフ

5. 国内外グループ会社の活動紹介

エル・アンド・ティー・千代田リミテッド (L&TC)

献血活動を実施

L&TC は、11月17日の創立記念日に全従業員がキャンプでお祝いを行い、CSR活動の一環として今年も献血を実施しました。80名以上の従業員が献血に協力しました。献血活動に協力してくれた従業員に感謝すると共に、今後も社内のイベントを通じて、献血などのCSR活動に参加していきます。



千代田マレーシアSdn.Bhd. (CMSB)

インターンシップ研修生の受入

CMSBは2016年2月18日～26日に、大阪大学とマラヤ大学より8名の学生を受け入れ、インターンシッププログラムを行いました。このプログラムは、カップリングインターンシップ (CIS) プログラムと呼ばれ、世界を舞台に活躍できるリーダーを育成することを目標としたもので、コミュニケーションスキルや技術的な知識を中心に学びます。



石油・ガス産業に特化したエンジニアリングの様々な実用的な側面に関する実用的なプログラムと協議を提供しました。学生からのフィードバックは私たちの励みにもなり、参加した研修生たちがこのトレーニングの経験を活かし、世界で活躍することを願っています。

千代田インターナショナルインドネシア・SAEプロジェクトチーム (CII/SAE)

ジャカルタ「絆」駅伝2015への協賛



5月31日、日本とインドネシアの友好を目的としたジャカルタ「絆」駅伝に協賛し、CII/SAEチーム混成で、1チーム4名で襷をつなぐ6チームがエントリーしました。日差しが強いジャカルタの街並みの中、みんなで汗を流しながら懸命に走って襷をつなぎ、無事ゴールを迎えることができました。結果は残念ながら入賞するチームはありませんでしたが、全員が全力を出し切ったがゆえ、清々さと一体感を感じた1日となりました。この駅伝を通じて、日本人・インドネシア人の国境を越えた「絆」を忘れず、1つの目標にみんなで力を合わせて向かい、来年も再来年も挑み続けていきたいと思っています。

千代田フィリピン・コーポレーション (CPh)

小学校向けドライブキャンペーンの開催

CPhは2015年6月17日に子供たちの未来への希望を支援することをテーマにドライブキャンペーンを開催しました。レナート・R・ロベス小学校の369名の生徒に色鉛筆やメモ帳などの文房具を始めとした学用品を届けました。子供たちがインスピレーションや希望をもち、楽しんで教育を受けられる環境作りに貢献していきます。



5. 国内外グループ会社の活動紹介

千代田システムテクノロジーズ株式会社 (CST)

MES DAY 2015開催

CSTは1年～2年毎に開催されるWerum社と共催して医薬品企業における生産、製造関連システムを中心とした情報交換並びに交流会を開催しており、今年も11月25日～27日に国内製薬会社様向けに最新動向の情報発信を行いました。データの完全性を求められている昨今、電子記録は必須条件となっていることから、製造現場から経営層までの全体最適化を目指したトータルソリューションを紹介しました。



千代田 & パブリック ワーク (CPW)

ミャンマー地区洪水への寄付金活動



2015年6月～7月にかけて、ミャンマーは14の州や地域のうち、12州43都市という広範囲で大雨による洪水の被害に見舞われました。多くの人々は洪水に苦しみ、様々な人道支援を必要としていました。

ミャンマーのWai Lu Kyaw財団は、全国の浸水地域における緊急対応と、復興支援プログラムを主導しており、CPWのCSR委員会は洪水被害のあった地域での復興支援活動へ参加すると同時に、社内で募金活動も行い2015年11月19日にWai Lu Kyaw財団へ100US\$を越える募金を寄付しました。

千代田タイランド (CTL)

Buddhist Lent Dayを祝う

タイでは、仏教行事をはじめとした行事やお祝い日が多くあり、タイの人々にとって大切な日になっています。CTLは、その1つであるBuddhist Lent Dayの2015年 7月31日にCTLはカムヘーン寺院へろうそくを寄付しました。



5. 国内外グループ会社の活動紹介

アローヘッド・インターナショナル株式会社（AIC） ユニセフ外国コイン募金活動の実施

AICは、千代田グループとしてユニセフ（国際連合児童基金）に協力して『外国コイン募金活動』を行いました。社員の机の中や自宅に眠るコインを集め、貧困に苦しむ発展途上国の子供たちの命を救い、教育の機会を提供し、若者が夢と希望を持って社会に参加できるように役立てる募金活動です。今回は外国コインと紙幣あわせて、重量で約14KG、金額にして推定約3万円を超える募金が集まりました。今後も社会貢献活動として継続していく予定です。



千代田アルマナ・エンジニアリング・エルエルシー（Chiyoda Alman） ビーチクリーンキャンペーンの参加

Chiyoda Almanは3月6日の創立記念日を祝うと共に、自治体省と協力してAl Zubaraビーチでクリーンキャンペーンを行いました。今年は「ローカルクリーンをグローバルに考えよう！」というテーマでイベントが開催され、200人の従業員とその家族がキャンペーンに参加し、400袋以上のゴミを集めました。Chiyoda Almanはこのビーチクリーンキャンペーンに6年連続して参加しています。今後も自治体、地域社会と一体になってサポートしていきます。



千代田シンガポール プライベート・リミテッド（CSL） 子ども達へのサポート活動



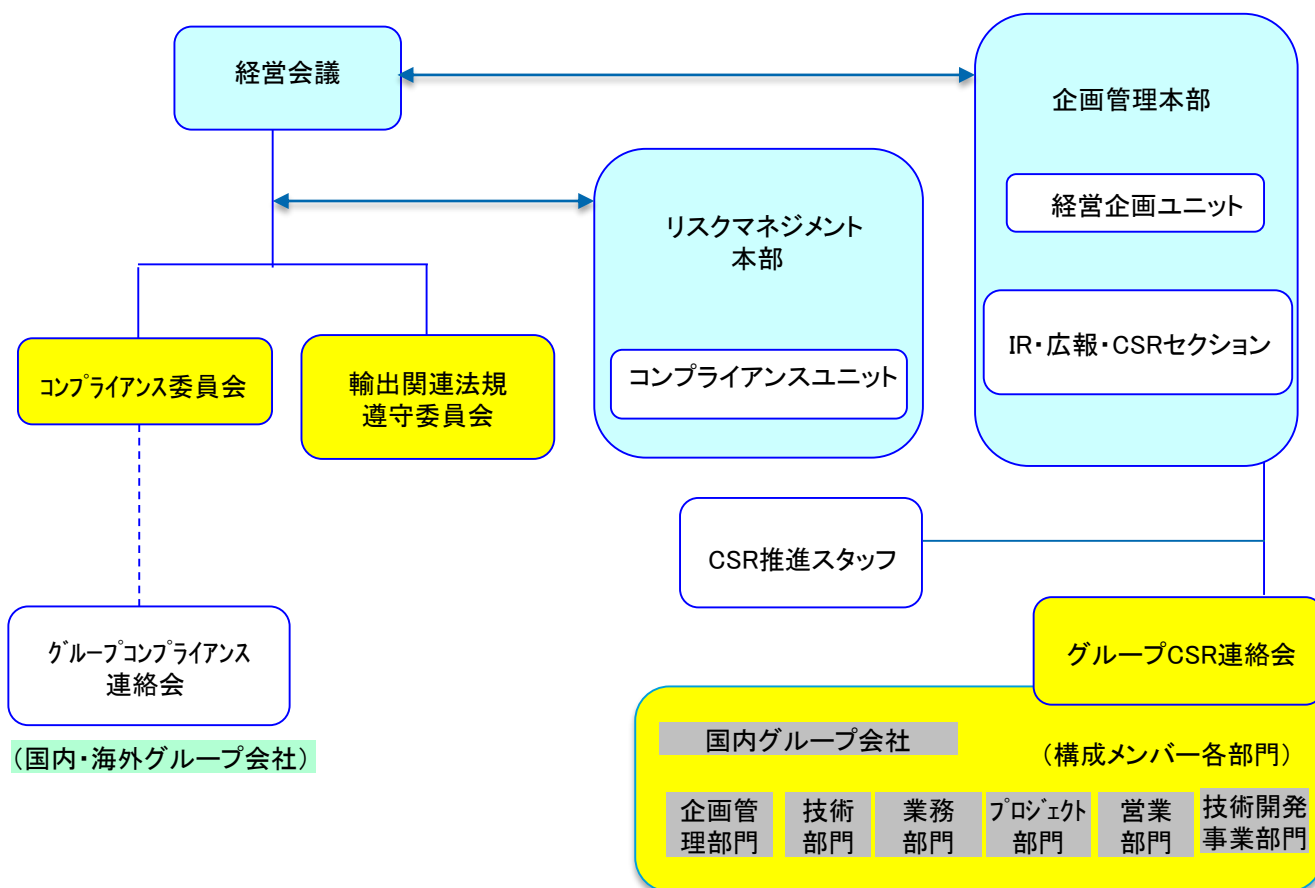
CSLは、2015年8月に、Singapore Children Society（子供たちの福祉をサポートする慈善団体）と連携し、40名の子供達を湾のそばの庭園へ遠足に連れていきました。

子供たちは4～8才で、主に貧しい家族の出身です。元気な子供たちと楽しく充実した時間を過ごすことができ、参加したCSLのスタッフも子供達も笑顔で充たされ、よい思い出を作ることができました。

6. CSR業務遂行体制

千代田グループに期待される社会からの多様な要請を的確に把握し実効的に応えていくべく、2015年4月に改組し、CSRに関する業務を管理・統括する恒常組織を企画管理本部 経営企画ユニット内に「IR・広報・CSRセクション」として設置しています。CSR活動に密接に関連しているコンプライアンスに関する業務は、リスクマネジメント本部内に「コンプライアンスユニット」を設け、各々、国内外のグループ会社との連携を図るとともに、「グループCSR連絡会」*及び「コンプライアンス委員会」、「グループコンプライアンス連絡会」、「輸出関連法規遵守委員会」等も活用して、CSR及びコンプライアンス活動の更なる充実に努めています。

なお、CSR活動を率先して推進する制度として社内有志による「CSR推進スタッフ」の登録制度も活用しています。



*: グループCSR連絡会

千代田化工建設及び国内連結対象グループ会社の責任者で構成され、推進するCSR活動の適正な実施について協議することを目的とした連絡会。

協議内容は以下通り。

- 1) CSR活動の年度計画策定、実績取り纏め
- 2) 社会貢献活動、環境関連
- 3) 国連グローバルコンパクトのグループ推進

7. CSRビジョン

私たちの果たすべき使命 千代田グループ経営理念

総合エンジニアリング企業として、
英知を結集し研鑽された技術を駆使して、
エネルギーと環境の調和を目指して事業の充実を図り、
持続可能な社会の発展に貢献する。

私たちの共有する価値観 CSR vision

私たち千代田グループは総合エンジニアリング企業として、事業の推進により社会の持続的発展に寄与することはもとより、以下を継続的に推進することにより企業価値を高め、全てのステークホルダーから信頼と共感を得る企業であり続けるよう努めます。

	国際的規範との対応	
	ISO26000 中核課題	国連グローバル・コンパクト
<p>CSR vision 1 信頼される企業 世界トップクラスの技術と知見の提供により、お客様をはじめ取引先から信頼され続ける企業となるよう努めます。</p>	消費者(顧客) 課題	-
<p>CSR vision 2 環境への取組 研鑽された技術を駆使して、地球環境と、経済・社会活動の調和を図り、社会にとってかけがえのない企業であり続けるよう努めます。</p>	環境	原則7：環境問題の予防的アプローチ 原則8：環境に対する責任のイニシアティブ 原則9：環境にやさしい技術の開発と普及
<p>CSR vision 3 事業を通じた社会への貢献 国内・海外のエンジニアリング事業の遂行を通じ、人材育成、技術移転、環境保護等地域社会への貢献に努めます。</p>	コミュニティ 参画 および開発	-
<p>CSR vision 4 人の尊重 全ての人々の人権を尊重します。同時に従業員の多様性、個性、人格を尊重し、従業員とその家族が誇りを持てるような働きやすく、働きがいのある企業風土作りに努めます。</p>	人権 労働慣行	原則1：人権擁護の支持と尊重 原則2：人権侵害への非加担 原則3：結社の自由と団体交渉権の承認 原則4：強制労働の排除 原則5：児童労働の実効的な廃止 原則6：雇用と職業の差別撤廃
<p>CSR vision 5 公明正大な企業運営 常に高い倫理観に基づいて公正な事業を営み、透明性と安定性を高めるよう努めます。</p>	組織統治 公正な事業慣行	原則10：強要や贈収賄を含むあらゆる形態の腐敗防止の取組み

私たちが行動する際の拠り所

千代田グループ行動規範
千代田グループ役職員行動の手引き

これらの理念・ビジョン・規範の詳細は当社Webサイトでもご覧いただけます。
<http://www.chiyoda-corp.com/company/policy/index.html>

7. CSRビジョン

千代田グループの社会的責任

千代田グループはグループ経営理念に基づき、時代の要請を的確に把握し、貧困、環境、資源確保、人権などのグローバルな課題解決に向けて社会の求める価値をエンジニアリングで創造し提供することが「千代田グループのCSR」と考えています。
 ISO26000中核課題、国連グローバルコンパクト10原則、持続可能な開発目標(SDGs)のグローバル指針を全社員の行動に反映させていくと共に、パートナーや取引先などにも遵守に努めていただくよう働きかけます。
 千代田グループは今後も事業活動において「スマイル&リスペクト」をコミュニケーションの基本姿勢とし、全てのステークホルダーの皆さまから信頼される企業を目指し積極的にCSRに取り組んでいきます。

活動方針	2015年度の活動
<ul style="list-style-type: none"> ● 質の高いエンジニアリングの提供によりお客様の満足を得る信頼性のあるプラントの提供 ● 協力会社など取引先とのCSR理念の共有 	<ul style="list-style-type: none"> ● エネルギーの安定供給と地球温暖化ガス削減への取り組み ● エネルギー源の多様化への貢献 ● お客様の信頼に応えるプラント建設 ● 情報セキュリティの意識向上への取り組み ● サプライチェーンマネジメントの取り組み
<ul style="list-style-type: none"> ● 環境負荷の少ないエネルギー技術、環境保全技術の開発、提供 ● 環境保全に寄与する企業活動 	<ul style="list-style-type: none"> ● 低炭素社会(省エネ、CO₂の有効利用)に向けた研究開発の継続 ● 水素社会に向けた事業開発の推進 ● 再生可能エネルギーの普及、促進 ● 環境保全に配慮したプロジェクト遂行 ● 生物多様性の保全活動の実施
<ul style="list-style-type: none"> ● 事業を通じた社会への貢献活動の整備 ● 知力・労力の提供による社会貢献活動の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域社会の文化振興助成 ● 地域社会の経済発展、人材育成への貢献 ● 次世代教育のための教育機関との連携、協力 ● 東日本大震災復興への取り組み ● その他の大災害に対する支援
<ul style="list-style-type: none"> ● 活気に溢れた組織風土づくりと人材育成の実現 ● 「安全はコアバリュー」の全関係者への浸透 	<ul style="list-style-type: none"> ● 働きやすい職場環境づくり ● 安全文化の確立と徹底 ● 人材育成制度の充実 ● 危機管理体制の確立 ● 女性活躍推進を含めたダイバーシティの推進
<ul style="list-style-type: none"> ● コンプライアンスの徹底と透明性ある企業活動 ● リスク対応の徹底 	<ul style="list-style-type: none"> ● コンプライアンス強化策策定/グループコンプライアンス連絡会の設置 ● 継続的なコンプライアンス教育および監査の実施 ● 国連グローバルコンパクトの周知 ● 安全保障貿易管理の周知徹底 ● コーポレートガバナンス・ポリシーの策定 ● 監査等委員会の設置 ● BCP(Business Continuity Plan:事業継続計画)

CSR Vision 1 信頼される企業

グローバル遂行体制の進展

Chiyoda Philippines Corporation (CPh)がPilipinas Shell Petroleum Corporation (PSPC)から受注したフィリピンでの製油所増強プロジェクト「STAR TREC Project」は、Chiyoda Philippines Corporation(CPh)が遂行主体となり、グループ会社が連携した地産地消体制で基本設計からEPCmまでを一括遂行したアジア初の中規模石油精製案件は2015年に完工しました。

プロジェクトの遂行にあたっては、プロジェクトチームと技術担当を一カ所に集めるセミタスクチーム体制を構築し、技術面やプロジェクトの推進について、顧客と

タイムリーにコミュニケーションを行い、業務を円滑に遂行しました。

プロジェクトの要員についても、現地のローカルエンジニアを積極的に起用した事で、彼らの高い地元貢献意欲も引き出せ、まさに地産地消体制を確立したプロジェクトとなりました。また、安全管理についても、千代田グループの安全プログラムC-Safeを導入し、関係者が一丸となって取り組んだ結果、工期23か月(270万時間)の無事故無災害を達成できました。各地の拠点における遂行力と競争力を加速させ、地域戦略拠点による分担体制の構築強化は着実に進展しております。



写真提供: Pilipinas Shell Petroleum Corporation

INPEX Operations イクシスLNGプロジェクトの遂行 —世界でナンバーワンの無事故無災害プロジェクトを目指して—

JGC・KBR・当社のジョイントベンチャーであるJKCオーストラリア(豪州法人)は、2012年初めに、豪州ダーウインを建設地としたLNG液化プラントの設計・調達・建設・試運転等を含むEPC契約をINPEX Operationsと締結しました。EPC契約の顧客であるINPEX Operationsは2017年第3四半期(2017年7月から9月)にLNGの製造開始を計画しています。本プロジェクトは世界最大級のLNG液化プラントであり、原料となる天然ガスは北西豪州沖のブラウズ海盆のイクシスガス田から供給される天然ガスを890キロのパイプラインでダーウインまで運ばれてきます。イクシスLNGプロジェクトの第一目標は世界でナンバーワンの無事故無災害プロジェクトを遂行することです。

1. サブコンの全ての要員と前向きな相互会話を心がけ
2. 全従業員への権限委任を進め、現場で目に見えるリーダーシップを発揮し
3. 新しいアイデアを出し、工事を楽しもう

をスローガンに掲げ、様々な取り組みを行い、プロジェクト一丸となって無事故無災害を目標に遂行しています。また、居住地をとりまく自然環境に配慮し、グランドフレアシステムを導入することで、排ガスの燃焼を適切な状態に保つことで、高い無煙性を実現しました。

本イクシスプロジェクトの製造規模は年産890万トンで日本の年間消費量の10%以上に相当します。そのうち約570万トンのLNGが日本の顧客に向けて毎年輸出される予定です。



CSR Vision 1 信頼される企業

世界初のセンダイウイルスベクター製造施設建設プロジェクト —最先端医療の発展に貢献—

株式会社アイロムグループ殿は、子会社である株式会社IDファーマ殿が保有するセンダイウイルスベクター技術の中核としたGMPベクター製造施設を、茨城県つくば市の株式会社IDファーマ殿 本社・研究所内に建設します。株式会社IDファーマ殿は、センダイウイルスベクターを用いたiPS細胞作製技術について、日本・欧米を中心に特許を取得されており、その技術をベースに開発されたiPS細胞作製キット「CytoTune®-iPS」が世界で広く売られていますので、自社製造・供給が求められてきました。

ベクターとは「運び屋」という意味で、治療等遺伝子を特定の臓器・組織に運搬し、効果的に標的細胞内で遺伝子産物を発現する物質です。センダイウイルスベクターは遺伝子導入の際に染色体を傷つけないため、細胞がガン化するリスクが低いと言われています。この性質はiPS細胞作製に非常に重要であり、先端医療分野である再生医療や遺伝子治療の大きな発展に繋がり、このベクターの製造に供するGMP対応製造設備の建設に当社グループはエンジニアリングを通じて高品質な技術力をお客様に提供いたします。今後も信頼と安全を得られるReliability NO.1企業として、お客様と共に社会の持続的発展を目指します。



世界でもっとも売れている
株式会社IDファーマ殿のiPS細胞作製キット
「CytoTune®-iPS」

お客様の声




株式会社IDファーマ
社長
朱 亜峰

アイロムグループは、再生医療、遺伝子創薬等の先端医療分野に取り組んでいます。このたび、IDファーマは、つくば本社・研究所内にセンダイウイルスベクター製造施設を新たに建設することとなりました。センダイウイルスベクターは、iPS細胞などを用いた再生医療に極めて有用な技術で、遺伝子治療製剤や遺伝子ワクチンなどにも活用されます。この新たな生産施設の建設に設計から携わっている千代田グループ様は、コンパクトでレベルの高いファシリティを提案して下さいました。GMP基準に合致することは勿論、デザイン、機能性に関するハイレベルな提案力は、千代田グループ様の最先端医療分野での施設建設の経験と実績の賜物といえます。限られた時間の中、密にコミュニケーションを取り、私たちの思いを吸い上げ、柔軟な発想での提案やアドバイスは、お互いの信頼感を高め、技術力をさらに集結できたと思っております。また、様々な段階での変更や要望にも迅速に対応頂き、真摯に取り組む姿勢が、スムーズな工事の遂行へとつながったと思っております。今後も千代田グループの皆様と共に、11月の竣工を目指して、安全第一に製造施設を完成して参ります。先端医療分野で最も重要な1つと言える「スピード」感をもって、アイロムグループが持つコア技術を、千代田グループ様のエンジニアリング技術と形にして、iPS細胞のみならず、遺伝子創薬領域に於いても、センダイウイルスベクターの供給をスタートさせ、共に先端医療への進歩へ貢献して参ります。

CSR Vision 1 信頼される企業

顧客・取引先との技術ダイアログ

千代田グループは、お客さまに信頼される技術、最新の技術を提供することを心掛けています。このため、お客様や取引先（機器・機械を製造するメーカー、建設会社、検査会社など）との対話を重視し、毎年、お客様や取引先との技術ダイアログを開催し、生の声を業務に反映しています。

名称	内容	主催	開催日	参加企業
品質内部監査員レベルアップ講習会	品質マネジメント・システム運営上の重要課題である「内部監査員」養成を支援する定期講習会を開催し、顧客、協力会社のマネジメント・システムの継続的改善を目指す。	千代田ユーテック(株)&顧客共催	2015年9月	国内化学会社、設備エンジニアリング会社(30名)
JOGMECテクノフォーラム2015	日本の幅広い企業を持つ技術力を生かして、資源保有国との協力関係を深める活動の一環として開催されている。今回は、当社役員の特別講演及びブース出展を行った。	千代田化工建設(株)	2015年10月	国内外のさまざまな産業分野より900名を超える来場者
CST ¹ PROJECT CLOUDリリースセミナー	プロジェクト管理に特化した次世代プロジェクト管理基盤のクラウドサービス「CST PROJECT CLOUD」の開始に伴い、エンジニアリング会社、建設会社、製造業を中心に東京と神戸にてセミナーを開催。	千代田システムテクノロジーズ(株)	2015年10月	約50名
ChASフォーラム2015	予防保全のための設備・業務の"見える化"をテーマとした技術交流。 	千代田化工建設(株) ChAS事業本部	2015年11月	30社以上の企業・団体及び千代田Gr各社約200名
PM ² シンポジウム2015	日本プロジェクトマネジメント協会主催の主催により1997年から続くプロジェクトマネジメントに特化したシンポジウム。旧IT&E時代の1999年から毎年出展。今回は「製造現場におけるプロジェクトマネジメント」について講演。	千代田システムテクノロジーズ(株)	2015年9月	エンジニアリング系、IT系、製造業を中心に約30名
MES ³ DAY	国内の製薬会社向けに、法規制の話をはじめ製薬業界の最新動向などを発信し、お客様と情報共有する場。今回は全体最適化を目指したトータルソリューションを紹介。	千代田システムテクノロジーズ(株)	2015年11月	製薬会社26社、40名

*1 CST :千代田システムテクノロジーズ株式会社

*2 PM :Project Management

*3 MES :Manufacturing Execution System

CSR Vision 2 環境への取り組み

日本初のバイオ・ジェット燃料製造実証プラント建設

当社は、ユーグレナ社が米国Chevron Lummus Global社から受けた、様々なバイオマス油脂原料からジェット・ディーゼル燃料等を製造するライセンス技術を日本向けにローカライズして、横浜市に日本初のバイオジェット燃料製造実証プラントを建設します。微細藻類ユーグレナ(ミドリムシ)や油脂などを原料とした燃料は、二酸化炭素排出量の更なる削減が可能で、2020年には国産バイオ・ジェット燃料による有償フライト並びに、次世代バイオ・ディーゼルの公道走行を目指します。私たちは日本で初めてといわれるユーグレナの挑戦を全力でサポートし、エネルギーと環境の調和を目指し、エンジニアリングを通じて持続可能な社会の発展に貢献します。



“SPERA Hydrogen®” が学会賞連続受賞



政府は水素エネルギー社会の構築を進めており、既に燃料電池自動車(FCV)、水素ステーション、エネファーム等が実用化されています。その実現には、水素を石油や天然ガスと同様に大規模に貯蔵輸送する安全な技術の実用化が必須です。当社では、“SPERA Hydrogen®” Systemのパイロットプラントによる技術実証デモンストレーション運転を完了して、世界に先駆けて水素の大規模貯蔵輸送技術の確立を2013年に完了しました。その功績は、2014年に国際水素エネルギー協会より日本企業として初めて“Jules Verne Award”を受賞しました。また2015年には日本エネルギー学会賞、石油学会野口記念賞を受賞しました。当社は本技術の実用化を通じて、地球温暖化防止に向けた水素エネルギー社会の構築に貢献したいと考えています。

森林再生の取り組み



釜石地方森林整備

当社グループは生物多様性民間参画パートナーシップに参画し、活動しております。千代田グループ経営理念の中に謳われている「エネルギーと環境の調和」は、生物多様性条約締結国会議(COP10)で採択された新戦略計画の長期目標である「自然と共生する世界」と相通じるものであり、千代田グループは、生物多様性条約の目的の一つである「生物多様性の保全活動」に取り組んでいます。生物多様性への具体的な取り組みとして、以下の事例が挙げられます。

①事業活動を通しての取り組み

- ・環境に優しいLNG、再生可能エネルギーの安定供給
- ・低炭素化社会に向けたカーボンマネジメント
- ・エネルギー消費の最適化、排出物および廃棄物の無害化・減量化・再資源化
- ・環境に配慮した技術開発
- ・建設現場及び建設地域における環境への配慮

②社会貢献活動を通しての取り組み

- ・復興支援活動の一環としての岩手県釜石地方「千代田の森」の森林整備
本活動については、国連生物多様性条約事務局が推進するグリーンウェイブウェブサイトに登録し結果報告を行いました。

CSR Vision 3 事業を通じた社会への貢献

千代田アルマナ・エンジニアリング・エルエルシー (Chiyoda Alman) 教育機関への人材育成支援

Chiyoda Almanはカタールと日本の大学教育機関と学生の育成支援において総合的な協力関係を樹立し、カタール大学及び大阪大学と研究、教育、学生の交流等について協定契約を締結しています。この一環として、2015年8月から9月にかけて、8名の学生(カタール、日本から各々4名)を、カップリング・インターンシップ・プログラムにおいて、Chiyoda Almanが主催するカップリング・インターンシップ・プログラムに受け入れました。



Qatar, Osaka students complete internship

Students from Qatar University (QU) and Osaka University of Applied Sciences (OUAS) completed their internship at Chiyoda Alman. The program was organized by Chiyoda Alman, a joint venture between Chiyoda Corporation and Chiyoda Oman. The students were accompanied by their respective university faculty members. The internship provided a valuable opportunity for the students to gain practical experience in the field of engineering and project management. The program was highly successful and received positive feedback from all participants.

障がい者地域作業所製品の社内販売会 (ハートメイド販売会)を開催



横浜市社会福祉協議会に協力し、障がい者地域作業所で製作されたクッキーやケーキ、プリン等の販売会を2013年3月より隔月で開催しています。当社グローバル本社のリフレッシュルームでの販売は毎回好評で、毎回30分ほどで完売します。

また、8月に開催されたファミリーデーでは、参加者への記念品として、ハートメイドのカタログ通販のお菓子を用意しました。売上は、製作者である障がい者の方々への支援に役立てられています。

日本フィルハーモニー交響楽団コンサートに視覚障がい者の皆さんをご招待

当社は2011年度より日本フィルハーモニー交響楽団の第九演奏会に協賛しており、2015年度も12月28日に横浜みなとみらいホールにおいて開催された同演奏会に横浜市視覚障害者福祉協会の皆さん25組50名をご招待しました。

演奏会后、横浜市社会福祉協議会より当社の活動に対する感謝状をいただきました。贈呈式には、横浜市社会福祉協会の理事が出席され、「視覚障がい者は、生活をする上で聴覚からの情報を非常に大切にしており、音楽を聴く時間は心が癒されるひと時となります。そのため、第九演奏会のご招待には毎年応募が殺到し、今回も多くの方々を楽しみにされていました。素晴らしい演奏会によって一年の締めくくりができたことを大変嬉しく思います。」との言葉をいただきました。



2015年度に実施した主な活動事例一覧 (国内グループ会社を含む)

大学教育への協力(講師派遣)	18名
インターンシップ学生の研修	78名
出前授業(職場見学を含む)	7回
地域清掃活動	延べ 95名
食料支援活動(TABLE FOR TWO)	延べ 1782食
エコキャップ運動	ワクチン267人分

CSR Vision 3 事業を通じた社会への貢献

復興支援活動

千代田グループでは、2011年の東日本大震災以来、エネルギー施設やインフラなどの復旧に全力をあげて取り組むとともに、「全員参加型のCSR」をモットーに社員による地域社会への貢献活動を支援しており、東日本大震災被災地には2012年度より岩手県沿岸部(大槌町、釜石市、陸前高田市)へ従業員ボランティアを毎年2回派遣しています。

さらに、2015年度からは現地のニーズに柔軟に応えるため、大人数での訪問だけではなく3つの活動に分けた小グループによるボランティア活動も開始しました。また、現地での支援のみならず、陸前高田市の長洞元気村のなでしこ会のみなさんとは、みなとみらい本社と子安オフィスで毎月継続して行っている販売会にゆべしや、現地の旬の食材をご提供頂き、関係を継続しております。

2016年3月11日で震災から5年の節目を迎えましたが、この未曾有の災害に対して今後も支援を灯し続けるメッセージとして、2015年度に新たに行った取り組みをご紹介します。



社内募金活動:

震災から5年を迎えるにあたり、改めて被災地支援のための社内募金を実施しました。集められた募金は「千代田化工建設グループ有志一同」として、当社がボランティア活動で訪問している岩手県の5つの団体へ全額寄付いたしました。

なお、ご協力いただいた方にはノベルティとして、ボランティア訪問している釜石地方森林組合の間伐材を使用したスマートフォン・時計スタンドを差し上げました。

これらの活動にあたり、地元受入れ団体とのワークショップでの意見交換や、参加ボランティアメンバーによるアンケート等も行い、より良い活動を継続していくことに努めています。

森林再生と自然や生態系の保全への取り組み:

釜石地方森林組合さんが地元の方から預かった山の一部を「千代田の森」と命名し、森林組合の指導を受けて、地帯から植林、下草狩り、間伐材整備までを行い、森林再生への取り組みを行っています。

また、津波の前よりも、もっと豊かな森と海を再生させることを目標に「復活の森」プロジェクトを遂行しているNPO法人吉里吉里国では薪の文化継承のお手伝いを継続して行っており、震災で山火事にあつた森林の環境整備支援と同時に、バイオマスなどの再生可能エネルギー資源の提供のお手伝いを通じて復興支援を継続しております。

震災で塩害をうけた畑を整備し、菜の花を植え菜種油を販売する地産地消に尽力する(一社)ユナイテッドグリーンへの活動にも参加し、菜の花畑の整備を地元の方と共に行っています。



「千代田の森」での植林活動



「千代田の森」の前で釜石森林組合さん・山主さんと



NPO法人吉里吉里国薪割り活動を終えて



ユナイテッドグリーン菜の花畑での活動

CSR Vision 4 人を尊重する取り組み

女性活躍の推進

千代田グループは、多様性、個性、人格を尊重し、性別、国籍、年齢、宗教等によらず活躍できる環境の整備、支援、意識改革に積極的に取り組んでいます。

これはダイバーシティの推進により得られる多様な視点により、組織の柔軟性・対応力が向上すると考えているためです。

千代田グループでは、「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律(女性活躍推進法)」の成立を受け、確実に推進、実行すべく「女性活躍を推進する為の行動計画」を立案し、全従業員に対し周知徹底を図っております。

意識改革タスクチームの活動

当社は、女性の人材育成・活躍に対する意識改革を継続的に行うことを目的とするタスクチームを2014年に設立し、情報収集・交換や、社外講師を招待し講演会を実施するなど様々な活動を行っております。女性従業員個人の努力や、上司の裁量、職場の環境・雰囲気によって左右されずに女性従業員が安心して活躍し続けることが出来る文化・体制の確立を目指します。女性育成・活躍の切り口で女性従業員はもちろん、男性社員も含めて働き方を見直す機会を持つことで、グローバル化に向けた意識改革を推進していきます。

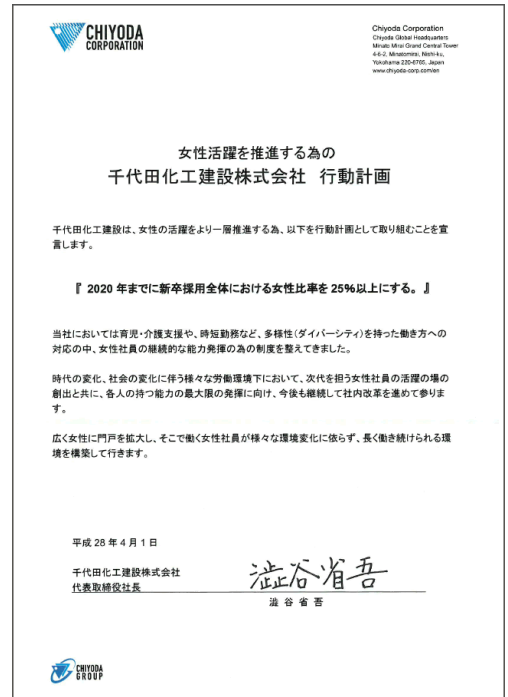
【2014年度～2015年度の講演会テーマ】

- ・女性活躍に繋がる環境、会社内評価
- ・無限の可能性が組織を変える
- ・グローバル経営としてのダイバーシティ

国際女性デーを祝う

Chiyoda Almanahは 2015年3月8日の国際女性デーに、ハマド医療法人婦人病院と連携して「健康的なライフスタイルとがん啓発をリードする」医療セミナーを開催いたしました。

また、高い志を持ったカタールの女性をカタール国立ビジョン2030を支持し、働く女性がますます活躍できるよう国際女性デーを祝いました。Chiyoda Almanahは女性従業員を含むすべての人権を尊重し、彼らがベストを尽くすための企業文化浸透に取り組んでいます。



CSR Vision 4 人を尊重する取り組み

国内・海外の優良現場からのLessons Learnedによる安全文化醸成

当社は、安全・品質・環境に関する社内外の知識・知見を全社が共有する場として「全社SQEI大会」を活用してきました。2015年7月に開催した第8回大会では「国内・海外の優良現場からのLessons Learnedによる安全文化醸成」をテーマに取り上げました。2014年度、特にSQE（労働安全/品質/環境）活動がすぐれていた国内・海外の現場での創意工夫活動を全社で共有し、その後、国内、海外の両案件の共通点、相違点をパネルディスカッションにて討議し、それぞれの安全管理上の優れた点、或いは改善すべき点を相互に認識し、学び合うことが出来ました。参加数は経営陣も含め500名を超え、工事関係者ばかりでなく、日頃工事と直接関わりの

ない方もパネルディスカッションを通じて工事安全に共感してもらい、熱気が溢れる大会となりました。

当社は「安全は我々のコアバリュー」を謳っておりますが、まさにその事を全社で体感することによって、安全文化を醸成し意識の中に更に深く根付かせるよう、努力を継続しています。



2015年8月決定

また、千代田グループは、「建設現場の工事安全」を主眼として、当社独自プログラム「C-SAFE」活動を推進し、全社SQE基本方針には「あらゆる事故は防止できる」を掲げ、安全文化の醸成に努めて参りました。更に今年は、千代田グループに「みんなで始める安全文化」を呼びかけ、C-SAFEの新しいロゴを公募し、全員投票により選び決定した新ロゴです。安全文化を「次世代へ」しっかり繋いでいく当社の固い意志を表現しています。次世代を担う子供達の視線が、当社の関わる全ての事業活動に向けられ、当社一人ひとりが「安全」への思いを更に深くし、また新鮮な気持ちを奮い立たせる、当社らしい旗印となりました。



安全な職場環境の創造

Chiyoda Almanahは従業員の権利を尊重し、安全な職場環境を提供するために、その改善に向けて努力しています。OHSAS 18001基準の遂行を通して、従業員を含むすべてのステークホルダーに日々の職場活動の一部として安全文化の定着や、安全認識の拡大を図ることで、卓越した安全記録の達成とその維持に努めています。この点に関連し、Safety Golden Rolesの教育を目的として、2015年に39名の従業員が4つの安全研修組織を立ち上げました。

地域住民との一体感の醸成

グランモール公園夏祭りが2015年7月24日に盛大に開催されました。

今年も千代田グループ各社、地域企業、近隣の方々と一体となり、神輿を担ぎながら盛り上げました。今年は神輿だけではなく、近隣企業と協力して出店も行い、子供たちが400名ほど集まる大盛況ぶり！さらに、パプアニューギニアの現場で担がれた手作り神輿を改装し、今年には子供神輿も行いました。

パプアニューギニアからみなとみらいへ、現場から子供達へ受け継がれた神輿を、これからは地域一体となって繋いでいく所存です。



CSR Vision 5 公明正大な企業運営

「千代田化工建設 コーポレートガバナンス・ポリシー」を策定

当社は、当社及び当社グループの持続的な成長と中長期的な企業価値の向上に資することを目的とし、当社の、コーポレートガバナンスに関する基本的な考え方および基本方針を定めるものとして、2015年10月23日付で、「千代田化工建設 コーポレートガバナンス・ポリシー」を策定いたしました。

株主、顧客、取引先、債権者、従業員、地域社会等のステークホルダーからの信頼と共感を得られる経営を企業活動の基本であると認識し、中長期的な成長の持続を目指し経営基盤の継続的強化、経営の健全性、透明性確保に取り組み、コーポレートガバナンスの継続的強化および内部統制の体制整備・強化を重要課題として掲げ、その実践に努めます。

BCP(Business Continuity Plan:事業継続計画)

千代田グループでは、事業遂行上のリスクに加えて火災・大地震や情報漏洩、コンプライアンス、海外でのテロなどへの危機管理対応に取り組んでおります。

BCP(Business Continuity Plan:事業継続計画)とは、事業中断の原因となるさまざまなリスクを想定し、これらを未然に回避し、あるいは被害を受けても速やかに復旧される為の方針や行動手順を定めたものです。

2015年度は、初めてBCP訓練を実施しました。今後每期実施していく予定です。

千代田グループでは、「火災・地震などの自然災害」、「新型インフルエンザなどの疫病」、「テロ・紛争などの政治的要因」など千代田グループに対して重大な影響を与える災害が発生し「事業継続を脅かす事態と判断する場合には速やかにBCPを発動して、「人命第一」を基本理念に重要業務の最低限の継続を図り、事業の早期復旧に向けて取り組むと共に、被災した地域の復旧・復興支援を行い地域社会に貢献してまいります。



継続的なコンプライアンス教育



千代田グループでは、国内外で高まるコンプライアンスリスクに対応すべく、2008年10月より、毎年10月～12月の中の1ヶ月程度を「コンプライアンス強化月間」と位置づけ、外部専門講師による「コンプライアンスセミナー」や、「eラーニング」を実施しています。

2015年度は、「外国公務員贈賄防止・競争法」、および「ハラスメント」をテーマとしたセミナー、コンプライアンスに関するeラーニング(和・英)を順次実施しました。

CSR Vision 5 公明正大な企業運営

2015年度の研修実績

2015年度コンプライアンス研修、セミナー関連受講実績

分類	項目	内容(回数、人数、等)
階層別研修	新入社員向け研修	1回/105人
	中途採用者向け研修	4回/9人
	新任幹部・準幹部向け研修	2回/42人
機能別研修	海外赴任前研修(対象者全員)	都度開催/217人
	現場所長赴任前研修(対象者全員)	都度開催/26人
セミナー	外部講師セミナー	贈賄防止・競争法:2回/166人 ハラスメント :1回/223人
eラーニング	eラーニング(和・英)	日本語:2,692人、英語:157人
短信発行	コンプライアンス短信発行	3回発行

2015年度輸出管理教育訓練関連

分類	項目	内容(回数、人数、等)
階層別研修	新入社員向け研修	1回/105人
	中途採用者向け研修	3回/9人
	輸出管理一般研修	4回/95人
機能別研修	輸出管理分野別研修 -該非判定-	5回/174人

2015年度の通報実績

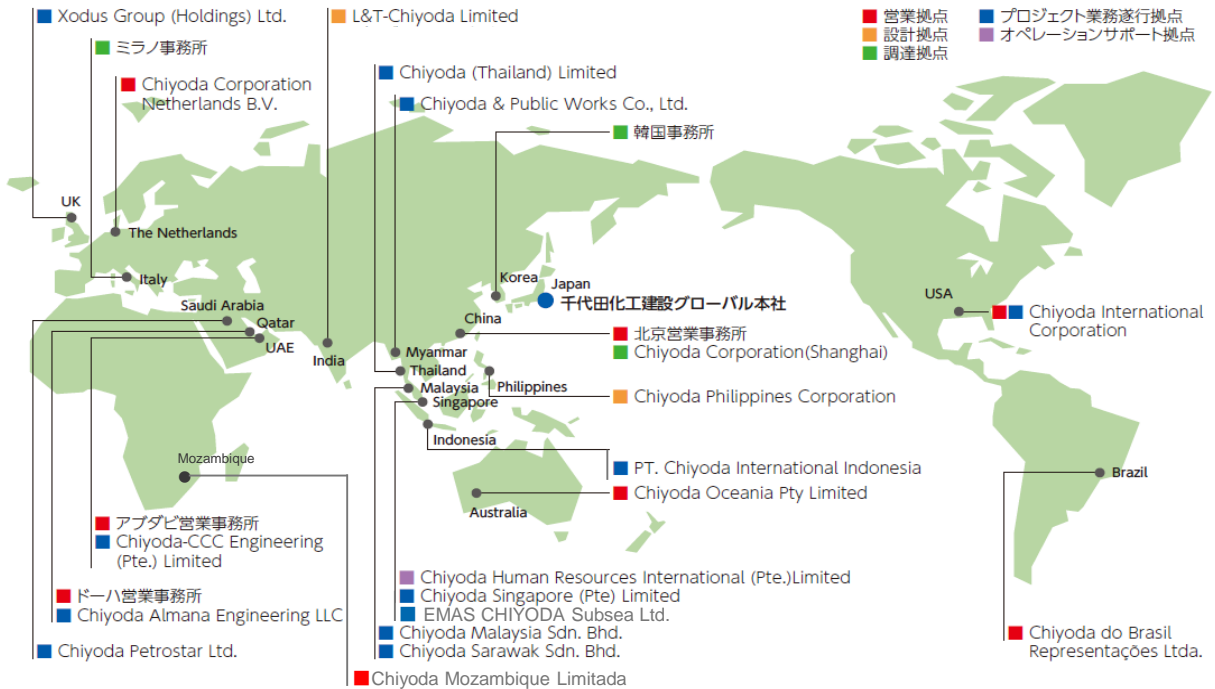
分類	件数*
法令違反・腐敗	0件
職場環境(パワハラ・セクハラ等)	9件
労務・就業・モラル	6件
合計	15件

(* CGHのみ)

Overseas Network 海外拠点・主要な国内グループ企業

(2016年4月1日現在)

世界に広がる千代田のグローバルネットワーク (主要な海外拠点)



エンジニアリング業務

千代田工商株式会社

各種産業用機械設備の設計・建設・メンテナンス、保険業務等

URL:<http://www.cks-ykh.co.jp/>

千代田システムテクノロジーズ株式会社

電気・計装・制御の設計・調達・建設・保全、統合ITシステムのコンサルティング・開発・運用及び社会インフラ設備に係る各種事業

URL:<http://www.cst.chiyoda.co.jp/>

千代田テクノエース株式会社

医薬品・石油施設の土木建築関連工事のコンサルティング、企画、設計、施工、試運転等

URL:<http://www.cta.chiyoda.co.jp/>

千代田ユーテック株式会社

各種産業用機械設備・地域開発等の総合コンサルティング、ISO認証維持のための審査業務、人材派遣業

URL:<http://www.utc-yokohama.com/>



Network Japan
WE SUPPORT

ビジネスサポート事業

アロー・ビジネス・コンサルティング株式会社

財務・会計・税務に関する総合コンサルティング及び業務受託等

アロー・ヒューマンリソース株式会社

人材派遣事業、職業紹介事業、アウトソーシング事業、教育・研修事業等

URL:<http://www.ahr.co.jp/>

アローヘッド・インターナショナル株式会社

旅行業、航空運送業等

URL:<http://www.arrowhead.co.jp/>

千代田ビジネスソリューションズ株式会社

人事総務系のサービス・管理・コンサルティング業務



FTSE4Good

千代田化工建設株式会社は、FTSE4Goodインデックスシリーズの構成銘柄です。FTSE4Goodは、環境・社会・ガバナンスのグローバル・スタンダードを満たす企業への投資を促進するようデザインされた株式指数シリーズです。



Member of SNAM
Sustainability Index
2016

千代田化工建設株式会社は、損保ジャパン日本興亜アセットマネジメント(SNAM)がESG(環境・社会・ガバナンス)の評価が高い企業を選定している社会的責任投資指標「SNAMサステナビリティ・インデックス」の構成銘柄です。